



病気 (びょうき) で家族 (かぞく) が

病院 (びょういん) にいる子どもたちへ



病気で病院 (びょういん) にいることを入院 (にゅういん) といいます。あなたのお父さん、おかあさん、またはおじいちゃんおばあちゃんが、病気になって入院してしまったとき、だいすきなひとがおうちにいないことはとてもさみしいことです。まいにち、いる人がいないだけで、家のなかはずかだったり、お手伝いをするが増えたり、お勉強をみってくれる人がいなかったり、わすれものをかくにんしてくれるひとがなかったり…自分ひとりでがんばってしまふことがたくさんあるでしょう。

大切な家族 (かぞく)、大好きなおかあさんやおとうさんが病院にいて、いらいらしたり、さみしいなあと感じたり、なみだが出てきたり、こわくなったりすることはありませんか？「がん」ってどういう病気だろう？かぜとはちがうのかな？いろんなことを感じて、考えることは当たり前のことですからしんばいしないでください。いろんなしんばいごとがあると、みんな、ねむれなくなったり、おなかがいたくなったり、ぐあいが悪くなることがあります。そうなったら、すぐ、周りのおとなや学校の先生にそうだんしてくださいね。

もし大すきなひとが死んでしまったら？とてもかなしいことです。どうしてぼく (わたし) にこんなさみしいことが起こるんだろう？そう思っているのはじぶんだけじゃないことをおぼえていてください。学校ではお話しできないかもしれないけれど、みんなと同じようなつらい体験 (たいけん) をしたおともだちはいます。みんなひとりじゃありません。つらいときは、周りのおとな、話しやすい人にそうだんしてください。